

4回表 甲子園初得点

試合展開を追う①



前川君のヒットで甲津君が生還。
遠かった本塁を踏みしめた



力投を見せてくれた金子君

試合が幕を開けた。14時21分、両校の大きな「お願ひします」という声とともに拍手が起こった。

観衆に頭を下げた。スタンドからは大きな拍手が起こった。14時21分、両校の大きな「お願ひします」という声とともに「得点」を知らせる曲「ポインター」が響き、彦根東高校野球部は甲子園での歴史的初得点を挙げた。14時55分。試合開始から34分後のことだった。

(へ続く)

た26日の第3試合は前の試合が長引いていた影響で、選手たちは予定より少し遅れてベンチに入った。その後はノックが行われ、監督の今井



習志野高校と対戦した。甲子園で迎えた初戦。4回の表に左前二塁打で出塁した甲津賢人君(26)が遠かったホームベースを踏み、本校は甲子園での初得点を挙げた。4、5の僅差で敗れた試合を回を追って振り返る。

義尚先生がバットを振った。1塁特別自由席で試合を見ておられた今井先生の叔父さんの高田善明さんと先生のことの知さんは「勝敗は別としていい試合をしてほしい」とおっしゃった。同じく1塁特別自由席におられた大橋正明君(16)のお父さんの同僚の服部雅明さんにもお話をうかがうと、「私は東高とは直接関係ないが、正明君は会社を見に来たことがあり、よく知っているの、会社を休んで仲間と応援に来た。頑張っ

てほしい」と力強く答えてくださった。

得点には結びつかなかった。試合に大きな展開があったのは4回表。二死から左前二塁打で出塁した甲津君が続く前川大地君(27)の左越えの適時二塁打によって本塁に生還。赤いスタンドの黄色い歓声とともに「得点」を知らせる曲「ポインター」が響き、彦根東高校野球部は甲子園での歴史的初得点を挙げた。14時55分。試合開始から34分後のことだった。



試合前、ノックを行う今井先生

1回表。最初に打席に立った新谷直弘君(26)が2本のファウルを打った後、中央にヒットを放った。バックスクリーンに赤く「H」の文字が現れ、真つ赤なアルプスから大歓声が起こった。続く新谷友君(23)は投ゴロとなり、盗塁を試みた直弘君もアウトになった。3番大橋君も二ゴロに倒れ、交代となった。1回裏。マウンドに立ったのは金子周作君(26)。習志野の3番宮内君を140キ口前後の直球でファウルを打たせ追い込み、1222キ口の変化球で仕留めるなど、相手打線を無安打に抑えた。その後3回終了までは両校とも守備が光り、四球などによる出塁はあったがヒット、得点には結びつかなかった。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号